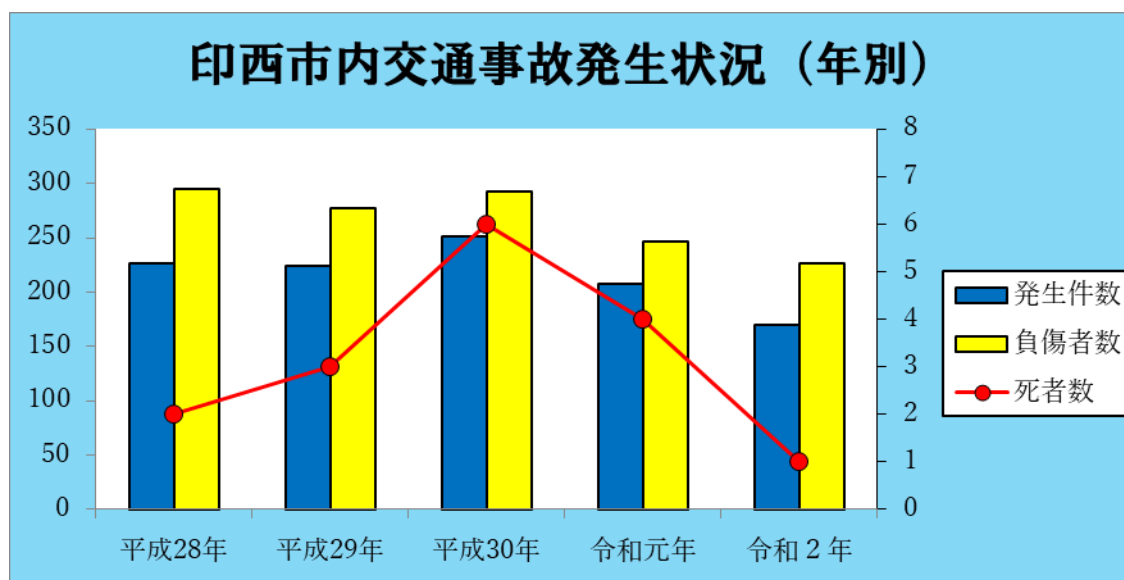


道路交通事故のすう勢

ア 交通事故の現状

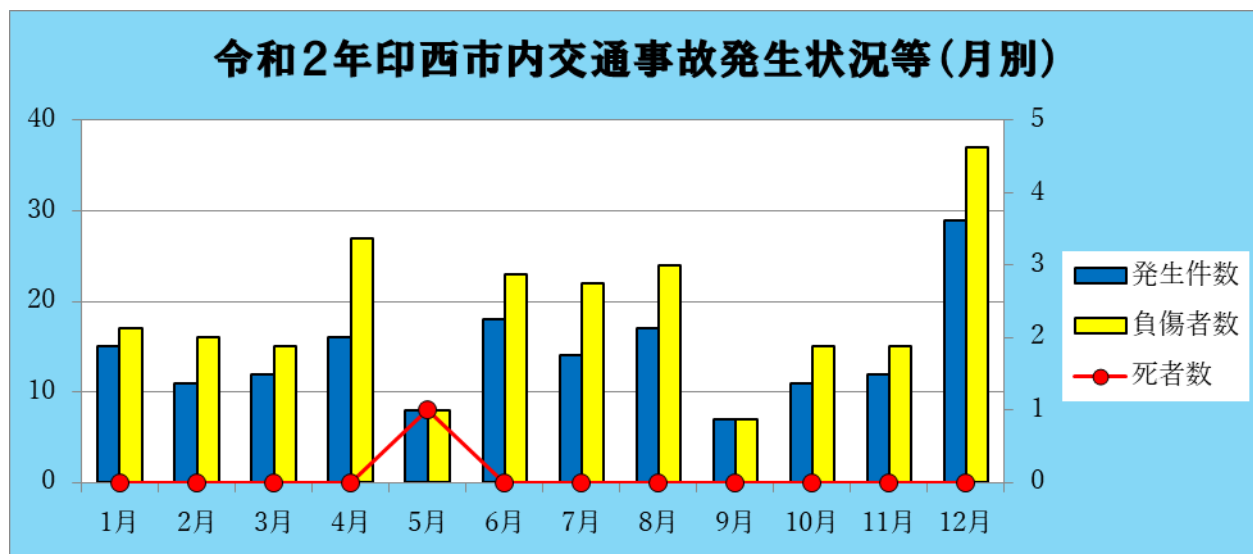
市内における過去5年の交通事故の状況について、平成30年が発生件数251件、負傷者数293人、死者数6人と最も多い状況でしたが、翌年以降から減少しており、令和2年は、発生件数170件、負傷者数226人、死者数1人と全体的に減少傾向にあります。

【過去5年の交通事故発生状況】



年	H28	H29	H30	R1	R2
発生件数	227	224	251	208	170
負傷者数	295	277	293	246	226
死者数	2	3	6	4	1

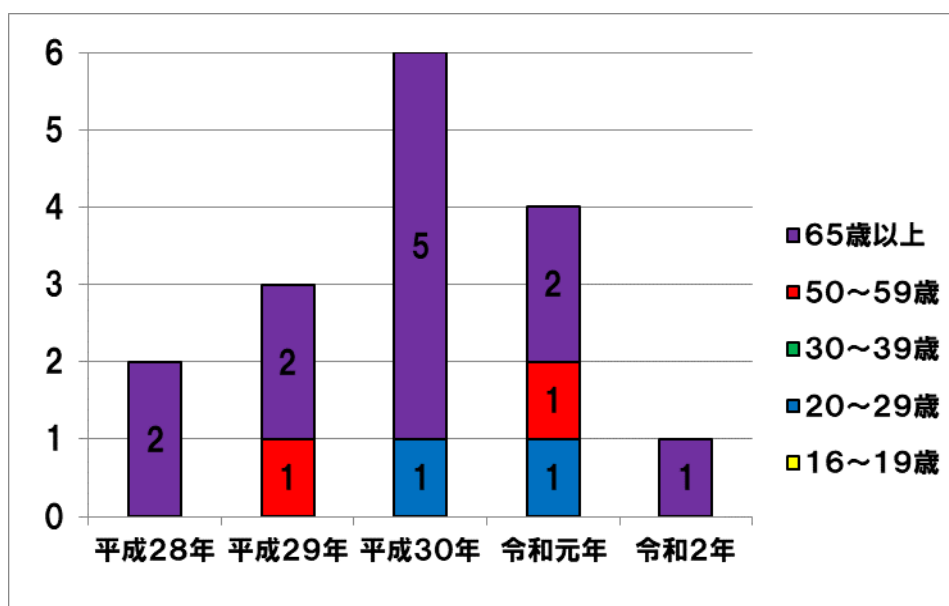
【交通事故の月別発生状況】



【特徴】 月別の発生状況では、年間平均で約14件程度の交通事故が発生しました。
 その中で、12月は、発生件数、負傷者数、死者数ともに最も多い数値で、9月については、
 発生件数、負傷者数、死者数ともに最も少ない数値になっております。

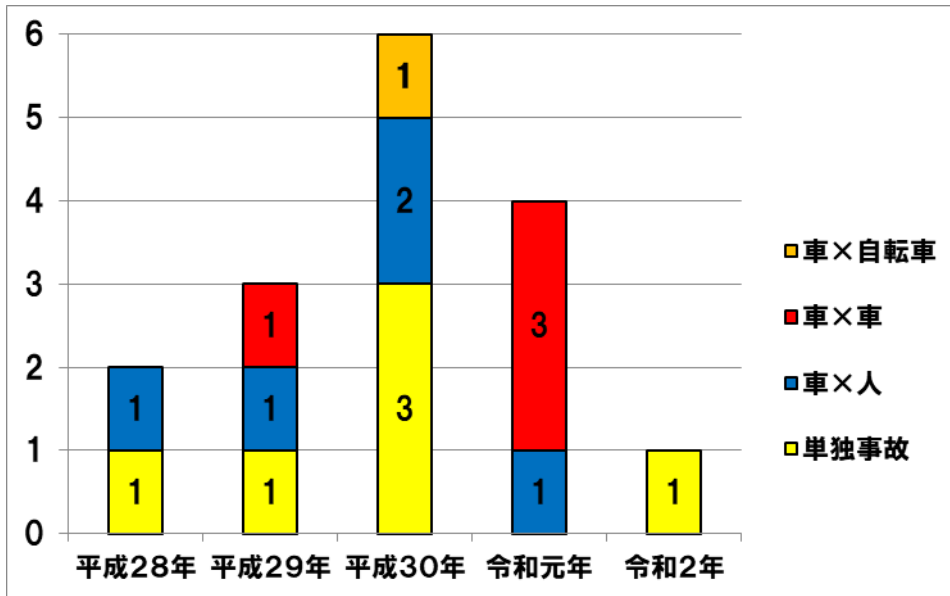
イ 交通死亡事故の特徴(過去5年)

a 原因者年齢層別発生状況



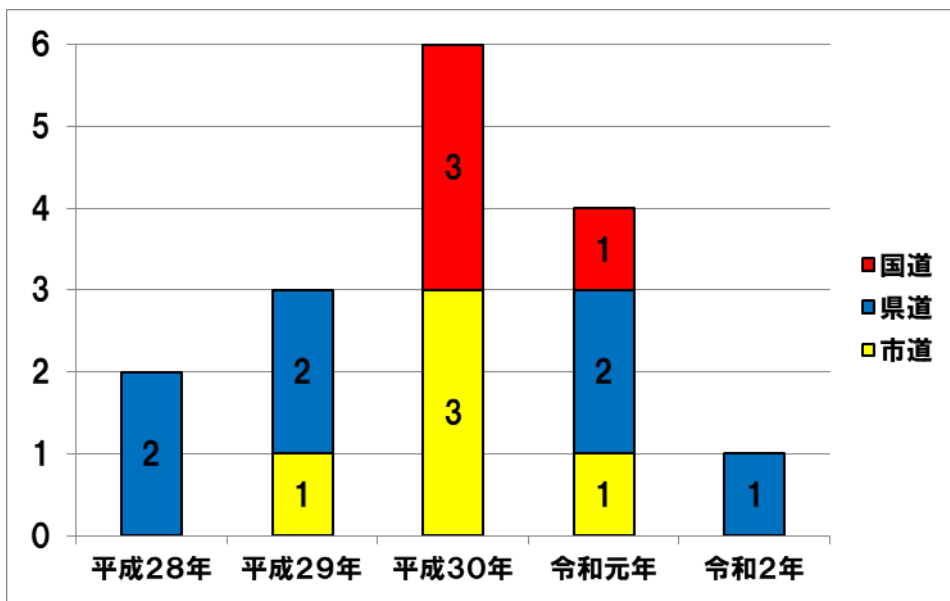
【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が合計12件と最も多くなっています。

b 類型別発生状況



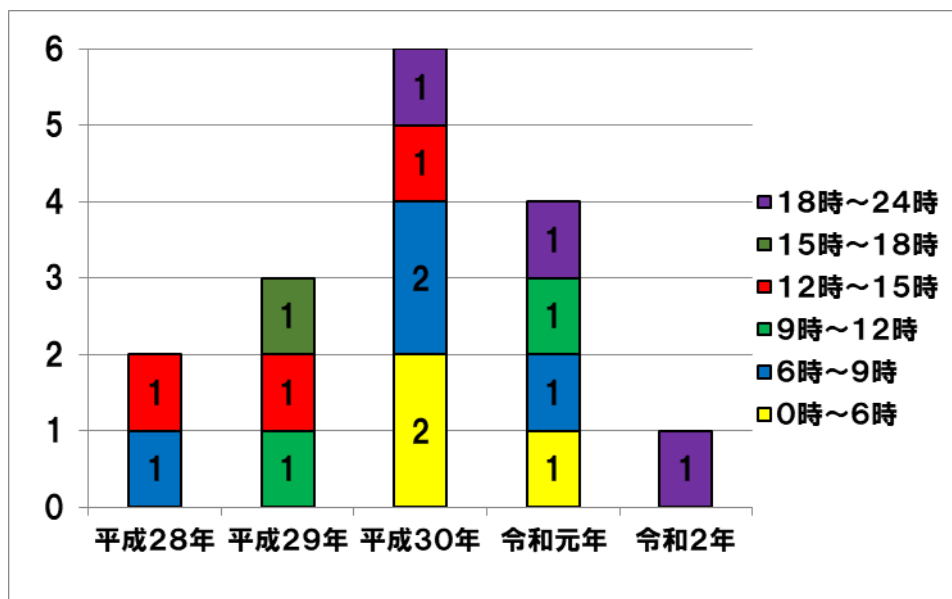
【特徴】 類型別の発生状況では、単独事故が6件で全体の約38%と最も多くなっています。

c 路線別発生状況



【特徴】 路線別の発生状況では、県道での発生件数が7件で全体の約44%と最も多くなっています。

d 時間帯発生状況



【特徴】 平成30年から18時～24時、0時～6時の夜間の事故が発生しています。

ウ 交通人身事故の特徴

a 原因者年齢層別発生状況

年/年齢	0～12 歳	13～15 歳	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65歳 以上	不明
平成28年	2	0	7	40	25	35	49	17	42	10
平成29年	0	0	3	28	35	44	39	14	55	5
平成30年	0	0	3	36	39	47	36	17	70	3
令和元年	0	1	6	29	34	38	25	16	54	5
令和2年	1	1	4	18	22	29	35	12	48	0
合計	3	2	23	151	155	193	184	76	269	23

※「a 原因者年齢層別発生状況」は、第一当事者の数

※「不明」はひき逃げ

【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が269件で最も多く、次いで40代の193件、50代の184件の順となっています。

b 類型別発生状況

《車に起因する事故》

	車×車	車×二輪	車×自転車	車×歩行者	車×軽車両
平成 28 年	129	20	40	30	0
平成 29 年	133	15	33	34	0
平成 30 年	143	19	51	33	0
令和元年	122	16	39	25	0
令和2年	103	11	21	25	0
合計	630	81	184	147	0

※軽車両は、自転車を除く

《二輪に起因する事故》

	二輪×二輪	二輪×自転車	二輪×歩行者
平成 28 年	1	2	0
平成 29 年	0	1	1
平成 30 年	0	0	0
令和元年	0	0	1
令和2年	0	0	0
合計	1	3	2

《その他》

	自転車×自転車	自転車×歩行者	その他単独
平成 28 年	1	0	4
平成 29 年	1	0	6
平成 30 年	0	0	5
令和元年	2	1	2
令和2年	3	5	2
合計	7	6	19

【特徴】 類型別発生状況の車に起因する事故においては、「車対車」が630件で全体の約58%と最も多く、次いで、「車対自転車」の184件、「車対歩行者」の147件の順になっています。

c 路線別発生状況

年/路線	県道								
	千葉 竜ヶ崎線	柏 印西線	市川 印西線	船橋 印西線	千葉臼井 印西線	佐倉 印西線	印西 印旛線	北環状線	南環状線
平成 28 年	20	1	5	3	6	8	1	2	9
平成 29 年	14	0	6	3	5	10	3	4	5
平成 30 年	13	2	7	3	9	7	4	2	5
令和元年	16	0	5	3	6	3	2	7	1
令和2年	14	0	3	3	7	6	2	3	2
合計	77	3	26	15	33	34	12	18	22

年/路線	県道		市 道	国道		その他
	鎌ヶ谷 本埜線	八千代 宗像線		356 号	464 号	
平成 28 年	1	1	107	12	36	15
平成 29 年	0	0	106	16	36	16
平成 30 年	0	0	111	19	54	15
令和元年	0	2	80	17	48	18
令和2年	0	2	71	7	37	13
合計	1	5	475	71	211	77

【特徴】 路線別発生状況では、市道が 475 件で最も多く、次いで国道の 282 件、県道の 246 件、その他で 77 件となっている。

また、国道別、県道別では、国道464号線で 211 件、県道千葉竜ヶ崎線で 77 件の事故が発生している。

d 時間別発生状況

年/時間	0～2 時	2～4 時	4～6 時	6～8 時	8～10 時	10～12 時	12～14 時	14～16 時	16～18 時	18～20 時	20～22 時	22～24 時
平成 28 年	1	0	3	21	30	22	26	34	37	31	12	10
平成 29 年	2	0	4	19	36	23	34	29	31	24	15	7
平成 30 年	3	3	2	19	25	42	31	29	41	33	17	6
令和元年	2	2	5	22	27	24	28	23	23	36	12	4
令和2年	2	1	1	14	25	22	19	20	27	23	11	5
合計	10	6	15	95	143	133	138	135	159	147	67	32

【特徴】 時間別発生状況では、「16時～18時」の時間帯に159件と最も多く、次いで「18時～20時」の147件、「8時～10時」の143件の順になっている。